特定空家等の判定基準

所在地: 調査日:

認定日:

調査No.:

	調査項目	評定内容	注意事項	判定	
1	建物(その他の工作物を含む)、立木等の倒壊の危険性の	老朽化等による建物倒壊の危険性		無	
		朽ちた立木の倒壊の危険性		無	
	程度	その他の工作物(塀等)の倒壊の危険性		無	
2	建築資材等の飛 散・落下の危険性 の程度	屋根・軒の老朽化、損傷(はく離・損傷)等に よる飛散の危険性		無	
		外壁等の老朽化・損傷(はく離・損傷)等による落下の危険性		無	
3	不特定者の侵入に よる犯罪、放火等 による火災の危険 性	玄関等の未施錠による不特定者の侵入の危険性		無	
		1階部分の扉・窓ガラスの破損等による不特定者の侵入の危険性		無	
		可燃物放置による火災の危険性		無	
4	生活環境への影響 の危険性の程度	樹枝の越境や雑草の繁茂等が隣接地及び接道道 路(構造・交通)に支障をおよぼしている		無	
		ごみ等廃棄物が不法投棄されている(すでに大 量に投棄され散乱しているような場合)		無	
		雑草や枯れ枝が適切に管理されないことによる 病害虫の発生		無	
5		地区要望		無	
	その他留意事項 ※いくつでも追記	スクールゾーン区域		無	
	可			無	
		現在危険であり至急是正する必要あり。		無	
備考	・調査項目1及び	事項は、自然現象(台風等)により発生する 2は、影響範囲を敷地境界から45度の角度の 記載する事態が発生しているものを含む。			
総合判定: 空家等 空家カウント 0					
上記評定内容において隣接地や前面道路等への影響が <u>2つ</u> 以上認められた場合、特定空家等と判定。					

調査員:

※調査物件の状況等については裏面を参照

<補足事項>

- ○「生活環境への影響」のうち動物の侵入については、表面評定内容の3が確認できた場合には動物の侵入の 危険性があると概ね判断できるため評定内容としては含めていない。
- ○「良好な景観の阻害については、表面評定内容が確認できた場合には景観の阻害にも影響があると概ね判断 できるため評定内容としては含めていない。
- ○表面評定内容を判定するため、「特定空家等に対する措置」を適切な実施を図るために必要な指針(ガイドライン)〔別紙1〕~〔別紙4〕を参考とする。